

病気のとき「かかりつけ」は、大切です

みなさんは、お腹が痛いとき、熱があるとき、ご飯を食べたくないとき、いつもと体の具合が違うとき、どの病院へ行きますか。いつも行く病院がありますか。安心して相談できる医者がいますか。

「かかりつけ」は、体のことで相談したいときや、体の具合が悪いときに、いつも相談している病院、医者、歯医者(歯の医者)、薬剤師(薬の専門家)のことです。病気のとき、新しい病院や医者を探すのは、とても大変ですから、あなたの「かかりつけ」がいと、安心です。

新型コロナウイルス感染症(COVID 19)が最初に増えたとき、「かかりつけ」の病院がない人は、どの病院へ行ったらいいか、わかりませんでしたから、困りました。

「かかりつけ」がいと、できること

「かかりつけ」の医者がいと...

- 健康(元気なこと)や体調(体の具合)、病気について、相談できます。
- 必要なときに医者が専門の病院を紹介します。
- 自分の家で病気を治す必要があるときは、医者が家に来ます。



「かかりつけ」の歯医者がいと...

- いつもあなたの口の中を見ているから、口の病気を早く見つけることができます。
- むし歯や歯の病気を早く見つけて、早く治すことができます。
- 口の中が健康(元気なこと)だと、体も健康になります。
- 自分の家で病気を治しているときは、歯医者が家に来ます。



「かかりつけ」の薬剤師が いると...

- ・ 病院の薬や、薬局で売っている薬について、よく知ることができます。
- ・ 一緒に飲んではいけない薬や、副作用(薬を飲んだあと、体の具合が悪くなること)が起きないかどうか、知ることができます。
- ・ 薬局が開いていない時間でも電話で相談を聞いてくれます。
- ・ 病院の薬について、確認が必要なときは、薬剤師が医者に聞きます。
- ・ 外に出ることができない病気の場合は、薬剤師が家に来ます。



「がん」のこと

「がん」は、大変な病気です。

日本人の2人に1人は、「がん」になります。そして、3人に1人は、「がん」で死にます。

墨田区では、2021年に720人くらいの人が「がん」で死にました。墨田区で死んだ人の28%くらいが「がん」でした。「がん」で死んだ人の割合は、国や東京都の平均より、多いです。

「がん」にならないように生活の習慣をよくします。そして、元気なときから、「かかりつけ」の医者、歯医者、薬剤師に自分の体について、相談できるようにします。

早く病気を見つけて早く治すことが大切です。